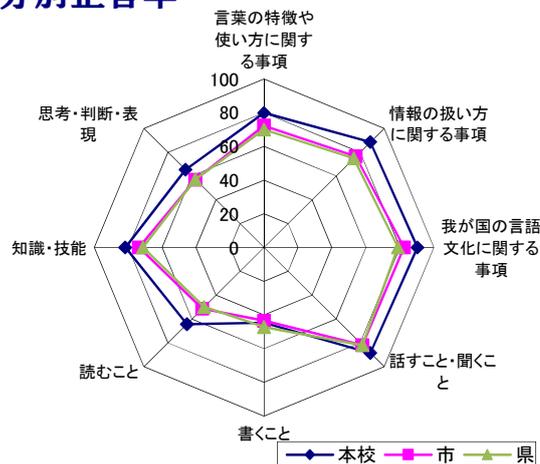


宇都宮市立錦小学校 第5学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使いに関する事項	79.9	72.3	70.0
	情報の扱いに関する事項	88.5	76.4	74.9
	我が国の言語文化に関する事項	90.4	82.4	78.9
	話すこと・聞くこと	88.5	81.9	82.0
	書くこと	44.7	43.5	47.2
	読むこと	64.2	51.4	49.8
観点	知識・技能	81.6	73.6	71.3
	思考・判断・表現	65.4	57.1	57.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使いに関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、県や市の正答率を上回っている。 ○漢字の読み書きに関する設問の平均正答率は、6問中5問が市や県の正答率と比べて高かった。 ●文の中における修飾と被修飾の関係を捉えることができるかどうかをみる問題では、正答率が13.5%で県より8.8ポイント低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きは、よく習得できているので、今後も朝の学習や家庭学習で、既習漢字の復習をして定着を図っていく。 連体修飾語や連用修飾語の使い方に慣れさせるために、日頃から教科書の文章などを例に品詞を確認して読む機会を設け、定着を図るようにしていく。
情報の扱いに関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、県や市の正答率を上回っている。 ○漢字辞典の使い方を理解し、使うことができるかどうかをみる問題では、正答率が88.5%で県より13.6ポイント高かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語辞典や漢字辞典を使って、いろいろな言葉の意味や由来を調べる学習をしたり、国語だけでなく、社会や総合的な学習の時間等で学習する語彙についても調べる機会を設けたりして、一層、情報の扱いに関する力を伸ばしていく。
我が国の言語文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、県や市の正答率を上回っている。 ○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることができるかどうかをみる問題では、正答率が90.4%で県より11.5ポイント高かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 普段から、ことわざや慣用句の分からない言葉があった際には辞書を引き調べる習慣を身に付けられるよう指導していき、更なる定着を図りたい。 自主学習のテーマとして、ことわざや慣用句の意味調べや文章づくりなどを提案していく。
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、県や市の正答率を上回っている。 ○司会の役割を果たしながら話し合い、意見の共通点に着目して、考えをまとめることができるかどうかをみる問題では、正答率が82.7%で県より12.8ポイント高かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語の話し合いについて学習する単元だけでなく、学級活動などで話し合いを実践する経験を重ねていき、さらに円滑に話し合いを進めるための言葉や態度が身に付くよう指導していく。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、県や市の正答率をやや下回っている。 ○内容の中心を明確にし、事実を伝える文章を書くことができるかどうかをみる問題では、正答率が57.7%で県より5.1ポイント高かった。 ●内容の中心を明確にし、事実と自分の考えを書くことができるかどうかをみる問題では、正答率が30.8%で県より6.8ポイント低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを書くことに対する抵抗感や苦手意識をなくすために、読書感想文や意見文などで書く経験を積み重ねられるように指導する。また、国語だけでなく、各教科において、自分の言葉で文章を書く経験を積み重ね、長文を書くことへの抵抗感をなくしていきたい。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、県や市の正答率を上回っている。 ○登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉えることができるかどうかをみる問題では、正答率が76.9%で県より18.6ポイント高かった。 ○叙述を基に段落相互の関係を捉えることができるかどうかをみる問題は、正答率が69.2%で県より18.6ポイント高かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の気持ちの変化や情景と場面の移り変わりを読み取ることがよく身に付いているので、さらに比喩表現や倒置法などの言葉の言い回しや情景描写などにも目を向けて、読み取る力を伸ばしていきたい。